

県立多治見病院 緩和ケア病棟便り

2026年7月号

発行：岐阜県立多治見病院緩和ケア病棟

【イベント予定】

岐阜県立多治見病院 緩和ケア病棟 行事予定表



2026年 7 月



日	月	火	水	木	金	土
			1 14時～ ふれあい喫茶 15時～ 傾聴(ほっこり堂)	2 14時～ ふれあい喫茶	3 14時～ アロママッサージ	4
5	6 14時～ マジックショー	7 15時～ ティーサービス	8 14時～ ふれあい喫茶 15時～ 傾聴(ほっこり堂) 15時～ ハンドマッサージ	9 14時～ ふれあい喫茶	10	11
12	13 13時～ ヘアカット 14時～ 音楽療法	14 14時～ ピアノ演奏(連弾) 15時～ ティーサービス	15 14時～ ふれあい喫茶 15時～ 傾聴(ほっこり堂)	16 14時～ ふれあい喫茶 14時～ オカリナ演奏	17	18
19	20 海の日	21 14時～ 園芸療法 15時～ ティーサービス	22 14時～ ふれあい喫茶 15時～ 傾聴(ほっこり堂) 15時～ ハンドマッサージ	23 14時～ ハーブ演奏	24 14時～ 法話	25 14時～ アニマルセラピー(もも)
26	27 14時半～ ピアノ演奏	28 15時～ ティーサービス	29 14時～ ふれあい喫茶 15時～ 傾聴(ほっこり堂)	30	31	
			※病棟のイベントは、緩和ケア病棟を退院した患者さんやその家族も参加できます。 都合により参加できない場合や中止の場合もあります。お電話か以下のメールでご確認ください。 電話：0572-22-5311（内線：7493 緩和ケア病棟師長） メール：kanwa@tajimi-hospital.jp			

【コラム】

《『妻とあればいつでも家郷梅雨青し』山口誓子》



家郷は“ふるさと”を示します。梅雨はうっとうしいものですが『青梅雨』と表すと青葉や若葉の明るい、そして気持ちもはずみます。家族の明るさを感じる句だと思えます。

今年は『青年よ大志を抱け』で有名なクラーク博士の生誕 200 周年。そして札幌農学校への赴任から 150 周年です。クラーク博士からのメッセージについて考えてみましょう。言葉の中に『志す』という言葉があります。『志す』とは心があるところに向かうこと、つまり自身の生き方の方向性を決めること、未来への期待、自分を信じる気持ちなど、私はある意味緊張感を感じます。右手を挙げたポーズは博士の『遙か彼方の永遠の真理』を表していると言われています。“Boys Be Ambitious”も日本を去る時の学生たちに「気高くあれ」を求め続けた言葉と言えます。150 年経った今でも、私たちの心に響く言葉だと私は考えることができました。

6 月 27 日に第 9 回ボランティア研修会が行われ、14 名の参加でしたが、“ボランティアとは何か”という講義のあとグループワークがあり、日頃感じている事など話題になり、先生より、自分の言葉で自分の思いを伝えることや、イベントが行われれば「ありがとうございました」など思いを伝えることなどアドバイスがありました。来年も企画して継続していきたいと思いました。

庭園ではミニトマトが青く実り、里芋やサツマ芋の苗が青く成長がみられます。アナベルの白い花や百合の花など初夏を楽しむことができます。



ボランティアコーディネーター：河村銘子

